考古学地理情報分析計画シート（20250623第1版）

34250112　秀島愛菜

タイトル　鳴瀬川・北上川流域の縄文晩期遺跡の動態

対象地域・範囲　鳴瀬川・北上川流域（宮城県・岩手県）

時代・時期　縄文時代後晩期

研究上の問い　当該地域で縄文時代後晩期の主要遺跡は地形とどのような関係にあるのか（面積の大きい拠点的遺跡はどのような場所に立地しているのか）

データセット

・主な分析対象　遺跡地図データ

・データソース　宮城県遺跡地図情報、いわて遺跡地図

・データ整形　　時代表記の修正（ex：縄文前～晩→縄文前・中・後・晩）

不要情報の整理

地理情報解析対象

・ラスタデータ　地理院10ｍDEM

・ベクタデータ　国土数値情報河川

国土数値情報土地分類

解析手法

・地理空間情報の取得（標高、地形分類）：

　・ラスタ：プロセシング→ラスタ解析→ベクタレイヤにラスタ値を付加→

　・ベクタ：ベクタ→属性の空間結合→遺跡地図のレイヤ＋重なる（overlap）

・集計：属性テーブルをcsvで書き出し、時代別に集計

図化

・背景地図　地理院タイル（陰影起伏図）

国土数値情報河川（鳴瀬川、北上川水系結合）

・重ね合わせ地理情報　国土数値情報土地分類

・図化

　・入力データの表示

・土地分類ポリゴン範囲内の遺跡数集計